

記入日	2022年 12月 16日
所属学部・学科 ／研究科・専攻	□理工学部 学科 専攻 ■理工学研究科 建築・都市学専攻
留学先国	シンガポール
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文:シンガポール国立大学 現地言語:National University of Singapore
留学期間	2022年 1月～ 2022年 12月
留学した時の学年	博士前期課程2年生
留学先での学年	M1(4年生) 年生
留学先での所属学部等	Design and Environment □特定の学部等に所属しなかった。
出発年月日	2022年 1月 03日
帰国年月日	2022年 12月 16日
明治大学卒業予定年	年 月
留学先大学について	
形態	■国立 □公立 □私立 □その他
学年暦	1学期:8月上旬～12月上旬 2学期:1月上旬～4月末
学生数	38526(2016年次)
創立年	1980年

留学にかかった費用(概算)

留学費用項目	現地通貨 (SDG)	円	備考
授業料		明治大の学費 円	交換留学を利用しました。
宿舍費	6000	60万 円	学生寮、週6日の夕朝食を含みます
食費		15万 円	上記を除いて月1.5万程度
図書費		0.5万 円	図書館の延滞料金
学用品費		12万 円	3Dプリンタ・モニター iPad等
教養娯楽費		15万 円	4か国ほど旅行に行きました
被服費		1万 円	数着現地で服を買いました。
医療費		4万 円	Covid19で出国前の診断書料金がかかりました。
保険費		10万 円	形態:ネットで申し込みました。
渡航旅費		6万 円	Zip Airを利用すると安いです。
雑費		3万 円	寝具など生活に必要な日用品
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		126万 円	100円=1SGD 換算です

出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

Covid19で出国できるか不明瞭な状況でしたので、いろいろな選択肢を同時に考えなくてはいけなかったことが、とても心苦しかったです。
奨学金の申請の準備を早めに行なうことと、現地で勉強するための英語の教材を持っていくことがおすすりめかもしれません。

留学のための渡航前手続き(留学ビザ)	
ビザの種類: Student Visa	申請先:ICA
ビザ取得所要日数: 3週間ほど (申請してから何日/週間要したか)	ビザ取得費用: 150SGD程度
ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか?また、どのように手配しましたか?	
NUS に求められる身分証明書類の他に、1年以上滞在する際には健康診断書の提出が必須です。NUSの大学で受けると50SGDほどで受けられ格安です。	
具体的な申し込み手順を教えてください。	
NUSの指示に従ってください。ICAのHPに必要な書類を提出し、期限までにオンラインで支払いを済ませてください。	
ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?	
ありませんでした。	
ビザ取得に関して困った点・注意点	
入国後に、ICAに予約を取ってVISAの受け取りを行なう必要があります。入国後1月を越えると不法滞在扱いになり罰金があるのでそれまでにVISAの受け取りをして下さい。	
留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)	
その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備, 携帯電話購入, 荷物運送など)	
ほとんどの店でカード支払いができるので、現金はそれほど多くは必要ありません。VISA取得後は口座の開設は難しくないのですが、wise等で送金か、数十万程まとまった現金を持ち込む方法もあり得るかもしれません。初めは海外キャッシングが可能なクレカで少額キャッシングしてました。寮に入れない場合の家探しは苦労すると思います、寮に落ちる可能性を考えて早めに準備する方がいいかと思えます。	

現地到着後のながれ					
1.到着時の様子					
利用航空会社	ZipAir				
渡航経路	直行				
渡航費用	チケットの種類: 航空券代:3万円(往路のみ)				
航空券手配方法	公式サイト ※利用した旅行社・旅行サイト, ガイドブック, 格安航空券情報等があれば記入して下さい。				
大学最寄空港名		現地到着時刻	10PM		
キャンパスへの移動手段	<input type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input checked="" type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他
移動の所要時間	20分程度				
空港からキャンパスへの移動の際の注意点, タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方, 料金等					
入国前に、GrabまたはGojekという配車アプリを登録しておくとう便利です。学校まで乗っても3000円くらいかと思えます、荷物が多くなければ電車も安くて便利です。					
大学到着日	月	日	時頃		
2.住居について					
到着後すぐに住居入居できましたか?	<input type="checkbox"/> はい	<input checked="" type="checkbox"/> いいえ いいえを選んだ方: 1月15日から入居可能だった。 Covid19の隔離のため			
住居のタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()				
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()				
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()				
住居を探した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()				
住居の申込み手順	オンラインで決められた期間に申し込みを行ないます。夏出発の場合6月ごろに申請期間があると思います。結果は授業開始のおよそ1か月前ですので、寮に落ちる可能性は				

	考えておいた方が安心です。
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？トラブルはありましたか？滞在先の感想も書いてください。	
3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
日程	
参加必須ですか？	<input type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は？	<input type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は？	
留学生用特別ガイドンス	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった
授業開始日	月 日から
その他、渡航してから必要な手続きについて・現地情報	
1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？いつ、どこで、方法は？日数、料金は？トラブルは？	
国内で申請を済ませた後、ICA で studentPass を受け取ってください。 入国後 1 月以内に済ませてください。入国 1 か月は旅行者扱いですので、その間の滞在には許可書は義務付けられません。	
2. その他現地でした手続きは？(健康診断、予防接種等)いつ、どこで、方法、日数、料金は？トラブルは？	
Covid19 のワクチン履歴を有効化するため、学校で血清テストを受けました。(20SGD) VISA の申請で必要なため健康診断を受けました。(50SGD) 3 回目の摂取は現地でしました。(無料) ICA で Visa の受け取りをしました。写真を持って来ると言われますが、無くても大丈夫でした。	
3. 現地で銀行口座を開きましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
DBS で開設しました。プランチに studentpass とパスポートと+65 の番号のスマホを持っていけば 1 週間くらいで口座開設ができます。	
4. 現地で携帯電話を購入しましたか？手続方法、必要書類、日数、料金は？トラブルは？	
プリペイドの SIM を買いました。Singtel や M1, Starhub のものがポピュラーです。いずれも大差ないです。最安で使えば 15 \$ で 120 日ほど使えます。top up はもう少し値段がかかります。	
5. 現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？	
Covid19 を罹患したり、カンボジアで軽い食中毒にかかったりしましたが入院の必要はなかったので、それぞれ 5 千円もしなかったと思います。事故の入院は NUS の保険が下りるので、短期間の留学の生徒は保険未加入の人も居ました。	
6. 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
建築学科の事務にメールすると快く返信してくれます。	
7. 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
寮に住む場合は男性は(おそらく女性も)特に心配することはないと思います。不注意で携帯をなくしましたが、無事帰ってきました。	
8. パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
学校・寮の wifi で困ったことはありませんでした。	
9. 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。	
調達出来ないものはほとんどありません。強いて言うなら読みたい本を電子化しておくとも便利かもしれません。食べ物も調味料もなんでも手に入りました。日本の化粧品はこつちだと少し高いかもしれません。 ワーホリビザの申請で英文の在学証明書をデータ提出が求められたので必要があればスキャンしておくといいか	

もしれません。

履修科目と授業について

1.履修登録はいつどのような形で行いましたか？

■出発前に(月 日頃)

■オンラインで登録 □志願書類に記入して登録 □できなかった □その他()

□到着後に(月 日頃)

□オンラインで登録 □国際オフィス等の仲介 □できなかった □その他()

登録時に留学生として優先されることは

あった

なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

なかったように思います。

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

決められた時期にポータルサイトで手続きを済ませてください。

出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？また希望通りの授業が取れましたか？

3000番台の設計のスタジオ(学部3~4年生向け)を登録していましたが、修士は5000番台のスタジオしか取れないようでした。卒業にかかわると行ってお願いすると、登録期間外でも5000番台の方を追加登録ができました。

卒業後の進路について

1. 進路

就職 進学 未定 その他:

2. 進路決定の際に参考にした資料, 図書, 機関など

3. 上記の項目で就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4. 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

5. 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6. 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

7. その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

VI. 一週間のスケジュール							
	月	火	水	木	金	土	日
7:00	起床	起床	起床	起床	起床	起床	起床
8:00	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
9:00	授業				授業		
10:00	授業				授業		
11:00	授業				授業		
12:00	授業				授業		外出
13:00	授業				授業		外出
14:00	授業				授業		外出
15:00							外出
16:00		授業		授業			外出
17:00		授業		授業			外出
18:00		授業		授業			外出
19:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	外出
20:00			ヨガ				外出
21:00							外出
22:00							
23:00							
24:00	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	就寝

学習・研究活動についてのレポート

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input checked="" type="checkbox"/> 12 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Option Design Studio 2	
科目設置学部・研究科	Design and Environment
履修期間	1 semester
単位数	8 module
本学での単位認定状況	10 単位認定
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 240 分が2回
担当教授	Rene Tan
授業内容	設計のスタジオの 1 つです。年や教授にとって内容は変わります。僕はベルリンを舞台に、シンケルとミースの再考、バウアカデミーの再建のプロジェクトでした。ベルリンでのフィールドワークを予定していましたが、Covid19 で学校の許可が下りずかないませんでした。
試験・課題など	4 回プレゼンテーションがあり、内 2 回は模型とボード、動画、小冊子の提出がありました。残り 2 回はボードだけのカジュアルなプレゼンがありました。
感想を自由記入	建築からの交換留学生はほとんどみんな取ってると思います。大変ですが、力が付く授業だと思います。たくさんスタジオの選択肢があるので、(10~15)どの教授に教わるかで充実度が全然違うと思います。慎重に選択してください。grasshopper や3D プリンタの知識が必要なスタジオもあります。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Theatre Experience	
科目設置学部・研究科	Art and Science
履修期間	1 semester
単位数	4 module
本学での単位認定状況	0 単位認定
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1.5 回
担当教授	
授業内容	劇の歴史や表現手法を学び、そのレビューや販促の資料のデザインをしました。
試験・課題など	実際に観劇したレビューのレポートと、販促資料のデザインのグループワークと学期末に試験がありました。
感想を自由記入	観劇についての基礎的な知識が得られ講義内容も充実していました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Film Art and Human Concerns	
科目設置学部・研究科	Art and Science
履修期間	1 semester
単位数	4 module
本学での単位認定状況	0 単位認定
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1.5 回
担当教授	
授業内容	主にオーセンティックなアジアの映画の鑑賞とその表現手法に関する授業です。知っている監督の作品が多かったので講義を取りました。講義の後は、その教室で映画のスクリーニングがありました。NUS の講義室は映画館みたいな構造なので鑑賞の環境はとてもよかったです。
試験・課題など	レビューのレポートと映画製作のグループワークがありました。学期末には試験がありました。
感想を自由記入	アジア映画が主題でしたが、ストーリーではなく、演出、映像そのものについての授業だったので、映画に親しみがある人は楽しく勉強できると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Advanced Architectural Integration	
科目設置学部・研究科	Design and Environment
履修期間	1 semester
単位数	4 Module
本学での単位認定状況	4 単位認定
授業形態	(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1.5 回
担当教授	
授業内容	構造と環境とデザインが統合された建築事例のリサーチとグループで事例をもとにした統合建築のデザイン
試験・課題など	全 3 回のプレゼンテーション、1 つの建築デザインをグループで完成させる。
感想を自由記入	終始グループワークなので、設計スタジオの負担になりにくいように配慮された授業です。最新の建築事例の収集などに興味があれば面白いと思います。建築をデザインするフェーズでは、様々な葛藤の中でどうやって洗練したデザインに着地させるかを考える機会はとても有意義でした。

留学に関するタイムチャート

年 1月～3月	武漢でコロナ発生
4月～7月	明治の留学制度の研究
8月～9月	出国できるか疑心暗鬼で留学の申請準備
10月～12月	10月ごろ？留学の申請
年 1月～3月	英語の勉強
4月～7月	5月の中旬に、留学の夏出発がコロナで中止になる。 留学計画の練り直し・冬出発と来年夏出発が選択肢に。 夏は修論をやりながら、英語試験を定期的に受けてモチベーションを維持。
8月～9月	おおむね同上。なかなか留学先からの連絡が来ない。
10月～12月	諦めかけていたところ11月中旬に留学の許可がでる。1か月半しか準備期間がなかったので一人暮らしの家の引き払いの支度や荷物、ビザの書類提出、留学の申請書作成などにてんやわんや。
年 1月～3月	1月3日出発 1月10日～1セメスター開始 1月15日 ホテル隔離終了 2・3月ごろ シンガポールのコロナ規制緩和(主に国境)
4月～7月	～5月上旬 1セメスター終了 5・6月インターンの準備開始(情報収集・ワーホリビザの申請・会社へのアプライ) 6・7月東南アジアへのフィールドワーク・ポートフォリオの作業
8月～9月	8月上旬～ 2セメスター目開始 8月中旬～ フルタイムのインターン開始
10月～12月	～12月上旬 2セメスター終了 ～12月下旬 インターン終了

留学体験記

<p>留学しようと思った理由</p>	<p>他の国で日本の建築がどのように受け止められるのか知りたくて、海外の大学で設計の授業を受けたいと思うようになりました。旅行は何歳になってもできますが、授業を受けることはそれ以上にハードルが高いと思ったからです。また、異なる文化で暮らしてみたいと思いました。そこで学んだことがどこかで自分の糧になると思ったからです。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>はじめてシンガポールに着いたとき、あまりにも英語が聞き取れなくて驚きました。現地のなまりのある英語は、普段聞きなれていたアナウンサーの話すクリアな英語とは全く違うものだとその時に痛感しました。また、世界情勢が不安定な時期だったので、留学生の友達とはよく政治の話をしました。日本の歴史や、中国香港台湾をはじめとしたアジアの政治や歴史は最低限勉強していくべきだと思いました。</p> <p>また、日本のアニメに詳しいと友達を作ることが簡単です。進撃の巨人や鬼滅の刃などが特に人気でした。見たことが無かったので現地の友人に教えてもらいながらアニメの勉強をしました。</p>
<p>この留学先を選んだ理由</p>	<p>HDB で多くの人が生活する風土にとっても興味がありました。リジッドな都市計画の上に成り立っている国家とその生活、そしてその中に紛れ込む経験はとても新鮮で勉強になりました。もちろん NUS の大学のレベルの高さや、学生の勤勉さ、英語が公用語の1つであること、治安の良さなども魅力的でした。</p>
<p>大学・学生の雰囲気</p>	<p>大学ですべての生活が完結するほど、至れり尽くせりでした。そのおかげか学生たちは勉強に全力で取り組んでいました。テスト前は深夜まで自習室やコモンルームで勉強や課題をしている生徒がたくさん居ました。留学生の方が受けている授業の数も少なく比較的リラックスしている雰囲気です。週末は遊びに誘われることも多かったです。設計のスタジオは日本のそれよりも課題が多く、設計のスタジオでは図面の重要度は低く、グラフィックの重要度が高かったように思います。</p>
<p>寮の雰囲気</p>	<p>BBQ、ピザパ、ゲーム、屋外映画鑑賞、スポーツ大会、コンサート、フォーマルディナーなど、すべて参加したわけではありませんが様々なイベントがありました。毎週のヨガクラスが一番楽しかったです。</p> <p>主に個室と共用のバストイレがあります。男女はフロアで分かれています。早朝と夜中を除いてはコモンスペースに集まって談笑している人が多かったです。</p>
<p>交友関係</p>	<p>寮の食堂で一人で食べている留学生がたくさんいるので、毎日違う人に話しかけて英語の練習をしながら一緒に食事をしていました。イベントにも積極的に参加していれば、寮の住人がだいたい見たことある人になるので、友達作りには困りませんでした。またスタジオが同じ学生やインターン先の同僚とは週末に一緒に出掛けたりして交流を深めました。</p>
<p>困ったこと、大変だったこと</p>	<p>友人と政治の話をしていると、自分の育った環境や見ている情報が必ずしもフラットではないことに改めて気づかされました。民族の話は相手によっては、センシティブであることもあるので、トピックの選び方には注意が必要でした。</p> <p>いろんなバックグラウンドの人が集まっているので、小さなストレスや食い違いは数えられないほどありましたが、それもすべて勉強だと思ってポジティブにとらえるように努めました。</p> <p>ただ、国籍や人種に基づいたステレオタイプングに少し悩んだ時期がありました。最後には慣れて冗談だとして受け取れるようになりました。</p>

<p>学習内容・勉強について</p>	<p>建築の専攻ですが、映画や観劇の授業も同時にとっていました。教師の英語よりも、ローカルどうしのグループワークのそののほうが聞き取るのが大変でした。 留学生が多い学校なので、留学生には優しいです。多少グループワークについていけなくても、意欲さえ見せれば協力してくれます。 日本人みんな話していましたがチュートリアルが大変です。初めのセメスターではほとんどキャッチアップ出来なかったの、予習をしっかりしてなんでもいいから何か発言することだけは自分の中で決めて取り組んでいました。 2 セメスターはシングリッシュに耳が慣れてきたので、随分話についていけるようになりました。</p>
<p>課題・試験について</p>	<p>課題の量は多いです。特に座学の授業はレポートや毎週の課題資料を読むことが大変でした。 設計の授業もスタジオによりますが、進む進度と最終提出物の量は多いと思います。 ただローカルの生徒は自分よりも多くの授業をとりながらこなしているの、負けないように全力でやり切りました。</p>
<p>大学外の活動について</p>	<p>もっとシンガポールの社会の中で過ごしたくさんのことを学びたいと思い、2 学期目は授業をとりながら現地の事務所でインターンをしていました。 別途ビザの取得が必要なので、早めの準備が必要です。</p>
<p>留学を志す人へ</p>	<p>留学はたくさんのチャンスを与えてくれますが、ただ授業を受けて過ごしているだけではあっという間に終わってしまいます。そして思ったよりも留学中に成し遂げられる事は多くないです。自分が留学を通して達成したいことの優先順位を明確にして、目の前のチャンスをつかむ万全な準備と、貪欲に学習しようとする姿勢がとても大切だと思います。</p>